

## 確定拠出年金の運用商品を選ぶときのポイント

ファイナンシャル・プランナー 江原 さとみ

Q 会社の退職金制度が変更され確定拠出年金になります。  
運用先を選ばないといけないのですが、どのような運用商品を選べばいいのかわかりません。運用商品を選ぶポイントを教えてください。

A 確定拠出年金ではじめて投資を経験するという人も多くいらっしゃいます。  
確定拠出年金では、実際に資産を運用するのは加入者自身ですが、運用する商品は運営管理機関が用意したものから選択します。確定拠出年金の加入時には、運用する商品の種類や内容、運用実績についての説明が行われ、運用指図の期限までに運用対象を選択しなければなりません。

まず、確定拠出年金にはどのような投資商品があるのでしょうか？

### ●預貯金

定期預金が投資対象で、元本が保証され安全性が高い。リスクが少ない分、収益（リターン）が低い運用商品といえます。

### ●債券

国内債券や外国債券を投資対象とし、債券の利息や売買益などがリターンとなります。実際の運用は投資信託によって行なわれ、元本は保証されません。

### ●株式

国内の株式や外国株式を投資対象とし、株式の売買益や配当金がリターンとなります。実際の運用は投資信託によって行なわれ、元本は保証されません。

### ●投資信託

投資信託は、投資対象を債券のみ、株式のみと限定するものだけでなく、債券と株式両方を投資対象とするものもあり、リスクの度合いによって商品を選択することができます。

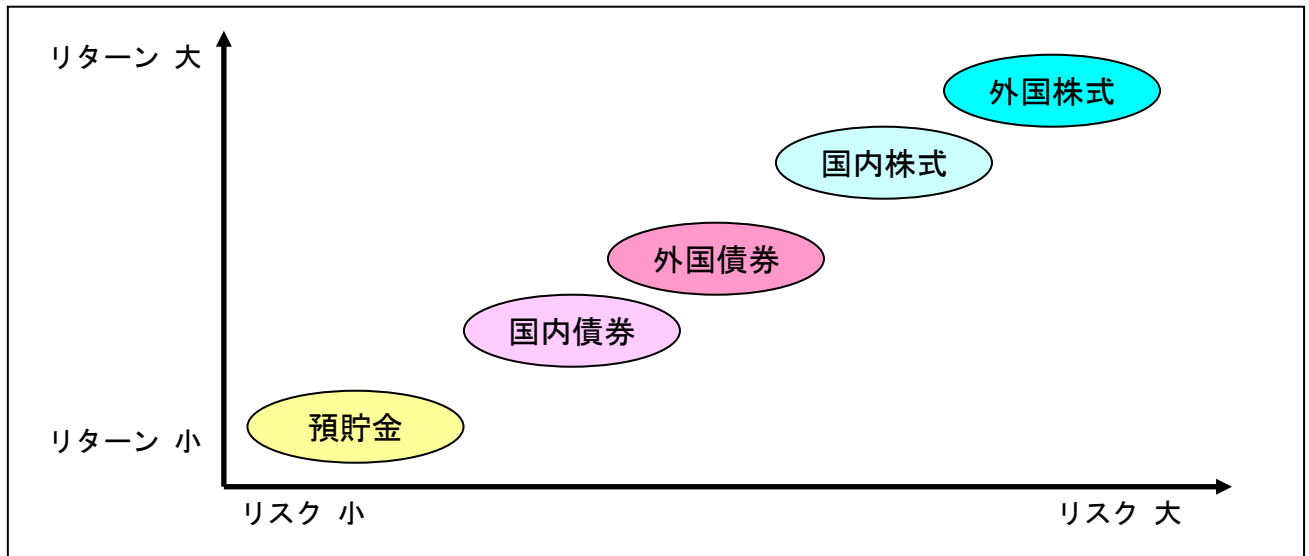


図1 資産の種類によるリターンとリスク

図1のように、一般的に、債券の割合が高いとリスクを低めにでき（安定運用）、株式の割合が高いと運用によってはリターンを多く見込むことができます（積極運用）。

運用商品の選択で大切なことは、自分がどのくらいリスクをとることができるのかということ（リスク許容度といいます）。普段から投資の経験のある人は、株式などへの投資割合を多くすることに抵抗はありませんが、投資経験のない人には難しいかもしれません。確定拠出年金を始めたからといって、無理に株や投資信託といったリスク商品を選択しなくてもよく、預貯金といった元本保証のある商品の割合を多くすることでリスクを抑えることもできます。

ただ、「投資に興味があったけど始められなかった」という人には良い機会です。そういった方には、まずは確定拠出年金をキッカケに投資を経験してみることということをお勧めしています。確定拠出年金はインターネットで自分の資産の状況をいつでも把握することができるので、資産が殖えれば嬉しいですし、より資産を殖やすために経済の動向や国内外のニュースに興味をわいてくるかもしれません。ただ、そのときどきの運用結果に振り回されないように気をつけましょう。

一般的に、運用期間が長い（若い）人や、確定拠出年金以外の資産が元本保証型のものが多い人はリスク許容度が高くなります。若いうちに投資の経験をしてみたいという人は、まずは確定拠出年金で積極的な運用にチャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。